

市町村名	宜野湾市
------	------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】

事業名	文化財説明板・標識設置事業				沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ 観光客の受け入れ体制の整備	
担当部課名	教育部	文化課	事業実施 年度	平成 24	令和 3	年度 III-1-(1)	
事業内容	観光振興及び文化教育に資するため、市指定・登録文化財の所在地に標識や説明板を設置するとともに、自治会事務所等に「地域文化財案内板(ふるさと案内板)」設置する。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・ 執行額 【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計	
	A. 予算現額	12,146	9,327	16,100	0	37,573	
	B. 執行済額	9,412	9,062	14,507	0	32,981	
	うち 交付金充当額	7,526	7,249	11,605	0	26,380	
	執行率(%) (B/A)	77.5%	97.2%	90.1%	#DIV/0!	87.8%	
執行状況の説明	H24年度から市内の自治会事務所等へ地域文化財案内板と指定文化財へ説明板を設置し、各地域の歴史文化遺産マップを作成し、関係自治会や博物館などへ配布を行った。R1～R3は繰越しながら事業を進めた。当初、計画していた宜野湾誕生時の字関連(安仁屋を除く)の自治会等への案内板設置等は終了した。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	文化財に文化財説明板と標識を作成設置する。 地域案内板を自治会事務所等に設置する。	目標	2件	3件	7件	8件	
		実績	2件	3件	8件	8件	
		目標					
		実績					
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
			30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
	文化財標識説明板設置件数3件 地域文化財案内板5件	目標	2件	3件	7件	8件	
		実績	2件	3件	8件	8件	
		目標					
		実績					

事業完了後の取り組み

	成果目標(指標) □ 中期にわたる事業効果 ■ 後年度に発現する事業効果	達成/進捗状況				
		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 目標/発現年度
事業完了後の成果目標	地域文化財を活用した学習会等への参加人数	目標	200人	200人	220人	
		実績	143人	274人	294人	
		目標				
		実績				

状況説明

【3年度】
・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 143人参加/200人以上
コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少し、そのまま参加者減少へつながった。

【4年度】
・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 274人参加
コロナ禍であったが小康状態であった。年度後半は、コロナを気にせず見学会を開催可能となった。

【5年度】
・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 294人参加
昨年度は、5年に1回開催される世界ウチナーンチュ大会での文化財案内で多くの方を案内できた。コロナ禍の自粛ムードがほぼ解消され、今回は教育委員会主催の見学会を増やしたことにより、大会での見学者数の減少分を上回った。また、見学会等においてマップの配布を行った。

【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)	【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)
<p>【3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数が143人と目標を下回っている。コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少したため、そのまま参加者減となり、目標に達せず。</p> <p>【4年度】 ・200人以上という目標を上回った。年度前半は人数制限をかけていたが、後半はコロナを気にせず見学会を開催した。また、世界ウチナーンチュ大会中に宜野湾にゆかりのある方々へ市の文化財を案内することができた。</p> <p>【5年度】 ・目標を上回ることができた。文化課や自治会での文化財の場所や内容についての問い合わせなどにおいて作成したマップなどで対応し、来訪者からも好評を得ている。</p>	<p>【3年度】 ・コロナ禍でも、文化財を見学できるよう検討し、多くの方が見学できるよう啓発手段なども検討する。</p> <p>【4年度】 ・案内板などの設置、マップ作成は一旦終了した。今後は歴史遺産マップなどを市民などが目にする機会を増やす工夫をする。市報やHPなどで情報発信など</p> <p>【5年度】 ・歴史遺産マップの知名度が浸透していないと感じられるため、更なる工夫を行い情報を発信し、市民が目にする機会を増やす。</p>

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【3年度】
・市報等に掲載し整備完了を啓発する。学習会の参加者数を減らし、回数を多くするなどする。歴史文化遺産マップの配布先の在庫(博物館、観光所管課等)を切らさない。HPレイアウト(マップ掲載箇所など)を検討する。

【4年度】
・説明板設置のお知らせを市報へ掲載した。歴史遺産マップを観光担当部署などへ配布した、在庫が切れていないか確認する。マップをHPへ全て掲載、今後掲載方法を工夫する。R2年度(R3年へ繰越)に整備した野嵩クヌカーの一面へ野嵩の歴史マップを印刷し掲載した。市主催の文化財教室でのテキストや見学会で歴史遺産マップを印刷配布する。

【5年度】
・歴史遺産マップのHP掲載方法の改善、マップや案内板の文化財教室等での活用を工夫し、見学者数の増加を図る。今後の検討として、比較的新しい屋取集落関連の自治会でのマップ作成など市全域をカバーできるよう検討する。

市町村名	宜野湾市
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】	

事業名	文化財保存整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア 沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり
担当部課名	教育部	文化課	事業実施年度	平成24 ~ 令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所 Ⅲ-3-(2)

事業内容
文化財を適切に保存し、市民、観光客等に公開活用できるよう、文化財の石積修復や安全対策、修景などの整備を行い、市の歴史・文化の継承を図る。

実施方法
 直接実施
 委託
 補助
 負担
 その他()

事業期間中の予算額・執行額【単位:千円】		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	合計
	A. 予算現額		74,880	54,635	42,288	0
B. 執行済額		68,565	54,203	41,683	0	164,451
うち 交付金充当額		54,833	43,362	33,346	0	131,541
執行率(%) (B/A)		91.6%	99.2%	98.6%	#DIV/0!	95.7%
執行状況の説明	H24年度から宜野湾市内の指定文化財の保存整備を実施 H25 我如古ヒージャーガー H30 小椋墓石彫香炉等の修復等 R1 大謝名メヌカー保存整備(繰越) R2 野嵩クヌカー保存整備等(繰越) R3 本部御殿墓保存整備(繰越) R4事業休止					

事業期間中の活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
大謝名メヌカーの保存整備工事を行う。	目標		境界測量	工事完了		
	実績		境界測量	工事完了		
野嵩クヌカーの保存整備工事を行う。	目標	野嵩クヌカー土質調査、詳細測量、実施設計			工事完了	
	実績	野嵩クヌカー土質調査、詳細測量、実施設計			工事完了	
本部御殿墓の保存整備工事を行う。	目標			基本実施設計		工事完了
	実績			基本実施設計		工事完了

事業期間中の成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		30年度	元年度	2年度	3年度	4年度
大謝名メヌカー保存整備工事	目標		境界測量	工事完了		
	実績		境界測量	工事完了		
野嵩クヌカー保存整備工事	目標	野嵩クヌカー土質調査、詳細測量、実施設計			工事完了	
	実績	野嵩クヌカー土質調査、詳細測量、実施設計			工事完了	
本部御殿墓の保存整備工事	目標			基本実施設計		工事完了
	実績			基本実施設計		工事完了

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		3年度	4年度	5年度	6年度	7年度 目標/発現年度
	地域文化財を活用した学習会等への参加人数		目標	200人	200人	220人	
			実績	143人	274人	294人	
状況説明	目標						
	実績						
<p>【3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 143人参加/200人 コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少し、そのまま参加者減少へつながった。</p> <p>【4年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 274人参加 コロナ禍であったが小康状態であった。年度後半は、コロナを気にせず見学会を開催可能となった。</p> <p>【5年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数 294人参加 昨年度は、5年に1回開催される世界ウチナーンチュ大会での文化財案内で多くの方を案内できた。コロナ禍の自粛ムードがほぼ解消され、今回は教育委員会主催の見学会を増やしたことにより、大会での見学者数の減少分を上回った。</p>							
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【3年度】 ・地域文化財を活用した学習会等への参加者数が143人と目標を下回っている。コロナ禍の影響により、学習会等が開催が減少したため、そのまま参加者減となり、目標に達せず。</p> <p>【4年度】 ・200人以上という目標を上回った。年度前半は人数制限をかけていたが、後半はコロナを気にせず見学会を開催した。また、世界ウチナーンチュ大会中に宜野湾にゆかりのある方々へ市の文化財を案内することができた。</p> <p>【5年度】 ・石積が崩れ、雑草が繁茂していた文化財を石積修復や舗装等の整備をしたことにより、景観もよくなり見学者が気持ちよく安全に見学できるようになり、苦情も減っている。</p>			<p>【3年度】 ・コロナ禍でも、文化財を見学できるよう啓発手段を検討する。</p> <p>【4年度】 ・整備した又はこれから整備する文化財の情報発信</p> <p>【5年度】 ・文化財を整備したことにより、見学会等を行う環境が整った。今後は整備した文化財の更なる情報発信と見学会等を開催して活用を図る。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【3年度】 ・市報等に掲載し整備を啓発、少しでも学習会(参加者数を減らし、回数を多くするなど)を開催する。</p> <p>【4年度】 ・市報へ整備した本部御殿墓へ掲載した。整備を計画している文化財についても情報を発信し、整備設計の資料とする。 市の指定文化財に関するHP(文化課、市観光部署など)の修正や更新などを行う又は依頼する。</p> <p>【5年度】 ・整備した文化財が見学しやすくなるようにHP等の改善を図る。 ・育成している文化財ガイドと協調、研修や支援などを行い、見学者の増加につなげる。</p>							

市町村名	宜野湾市
------	------

沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート 【後年度発現事業】

事業名	道路景観整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-(ウ) 世界水準の観光リゾート地の形成
	建設部	道路整備課	事業実施 年度	平成 24 ~ 平成 30 年度	沖縄振興基本方針 該当箇所
担当部課名					Ⅲ-1-(1)

事業内容
はごろも祭りやプロ野球キャンプやコンサートなど、各種イベント行事が行われるコンベンションエリア(市立球場や野外劇場・ビーチがある海浜公園やコンベンションセンター、ホテルなど)と国道58号を接続する市道を良好な景観形成を目的として、道路整備をすることで、宜野湾市の観光振興に寄与する。
・真志喜9号歩道改良工事 ・真志喜9号街路樹移植工事 ・真志喜9号歩道外灯設置工事
・真志喜26号歩道改良工事 ・真志喜26号街路樹移植工事 ・真志喜26号歩道外灯設置工事

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他()

事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		～27年度	28年度	29年度	30年度	合計
	A. 予算現額	138,450	36,231	76,560	141,001	392,242
	B. 執行済額	137,423	36,028	76,560	141,001	391,012
	うち 交付金充当額	109,933	28,823	57,755	112,800	309,311
	執行率(%) (B/A)	99.3%	99.4%	100.0%	100.0%	99.7%
執行状況の説明	【H24】真志喜9号道路舗装工事 【H26】真志喜9号歩道改良工事 【H27】真志喜9号歩道改良工事・真志喜9号街路樹移植工事・真志喜9号歩道外灯設置工事 【H28】真志喜9号歩道改良工事・真志喜9号歩道外灯設置工事 【H29】真志喜26号歩道改良工事・真志喜26号街路樹移植工事・真志喜26号歩道外灯設置工事 【H30】真志喜26号歩道改良工事・真志喜26号街路樹移植工事・真志喜26号歩道外灯設置工事					

事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
・真志喜26号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
	実績	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
真志喜26号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
	実績			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
	目標					
	実績					

事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況				
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
真志喜 9号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
	実績	1路線 0.16km	1路線 0.38km	1路線 0.11km		
真志喜26号 歩道改良・街路樹移植・歩道外灯設置	目標			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km
	実績			1路線 実施設計	1路線 0.5km	1路線 0.72km

事業完了後の取り組み

事業完了後の成果目標	成果目標(指標)	達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果	R元年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度 目標/発現年度	
	魅力的な観光地としての景観形成が図られたか(80%以上)を含め、観光客や市民の方へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目標	事業評価	事業評価	事業評価	事業評価	
		実績	延期	延期	延期	延期	団体100%、観光客(市民含む)93%

状況説明

【令和元年度～3年度】
 ・真志喜26号の全延長の工事が完了に伴い、観光客や市民からのアンケートにより、あり方を調査する。
 『コロナ禍の影響で実施できず、延期』

【R4年度】
 ・真志喜26号の全延長の工事の完了に伴い、観光客や市民からのアンケートにより、あり方を調査する。
 『コロナ禍の規制緩和を考慮し、観光シーズンに実施する為R5へ延期する。』

【R5年度】
 ・真志喜26号の全延長の工事の完了に伴い、観光客や市民からのアンケートにより、あり方を調査する。
 『観光客の多くなる時期(夏場)に街頭アンケートを行った。』

【完了後】事業効果等の確認
 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)

【完了後】改善措置等の検討
 (事業効果の更なる向上等)

【令和元年度～3年度】
 ・完了箇所において、事業評価について観光満足度調査を行っていく。
 『コロナ禍の影響で実施できず、延期』

【R4年度】
 ・完了箇所において、事業評価について観光満足度調査を行う。
 『コロナ禍の規制緩和を考慮し、観光シーズンに実施する為R5へ延期』

【R5年度】
 ・完了箇所において、事業評価について観光満足度調査(市内関連団体及び観光客・市民へのアンケート)を行った結果、下記のとおり肯定的評価を得られた。
 <調査結果概要>
 (1)事業評価
 ①市内関連団体(4団体)
 「とても良い」(2団体)、「よいと思う」(2団体)
 →全団体が事業を肯定的に評価
 ②県外(23人)・県内(7人)
 「とても良い」(6人/20%)、「よいと思う」(22人/73%)
 →93%が事業を肯定的に評価
 (2)景観形成による観光振興効果
 ①市内関連団体(4団体)
 「とても感じる」(2団体)、「感じると思う」(2団体)
 →全団体が観光振興効果を肯定的に評価
 ②県外(23人)・県内(7人)
 「とても感じる」(4人/13%)、「感じると思う」(23人/77%)
 →90%が観光振興効果を肯定的に評価

観光客並びに市民や利用者のアンケートに基づき、花や樹木などの維持管理に努める。

歩道のカラーや外灯または樹木など、視覚的観点から良い印象を与えられるよう維持管理に努める。

利用者から評価が高く、インパクトのある道路を目指す。

今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)

【令和3年度】
 ・観光客や市民へのアンケートにより、あり方を検討する。『コロナ禍の影響で実施できず、延期』

【令和4年度】
 ・観光客や市民へのアンケートにより、あり方を検討する。『コロナ禍の規制緩和を考慮し、観光シーズンに実施する為R5へ延期』

【今後】
 ・当該整備箇所(市道)は、国道58号線及び宜野湾バイパスを接続し、コンベンションエリア(宜野湾海浜公園等)につながるメインストリートであることから、海浜公園会場のイベント開催等と相乗効果(道路景観への肯定的評価)が図れるよう、引き続き維持管理を行う。